

# しものせき トピックス

Shimonoseki Topics



三の山での「神鎮め」



「神送り」の後、「神鎮め」のため山へ向かう当元たち

## シロナガスクジラ 全身骨格標本のすず払い

この全身骨格標本は世界に数体しかなく、国内では唯一のもので、貴重な標本に傷を付けないように、同館のボランティアなど19人が、はげや筆を使って慎重に作業し、1年間にかぶったほこりを除きました。

12月15日、海響館1階に展示しているシロナガスクジラの全身骨格標本のすず払いが行われました。平成13年の開館から歳末の恒例行事となつていきます。



## 6年に1度 蓋井島山ノ神神事

11月23日～25日、蓋井島で6年に一度行われる「蓋井島山ノ神神事」がありました。同神事は、市指定無形民俗文化財に指定されています。島の4カ所にある「山ノ神の森（一～四の山）」に住む山の神を、それぞれの祭りの世話をする「当元」の家に迎えて3日間もてなし、「神送り」の神事後、再び山へ送るといふ祭りです。伝統の神事を一目見ようと、多くの人が島を訪れました。

11月23日～25日、蓋井島で6年に一度行われる「蓋井島山ノ神神事」がありました。同神事は、市指定無形民俗文化財に指定されています。島の4カ所にある「山ノ神の森（一～四の山）」に住む山の神を、それぞれの祭りの世話をする「当元」の家に迎えて3日間もてなし、「神送り」の神事後、再び山へ送るといふ祭りです。伝統の神事を一目見ようと、多くの人が島を訪れました。

## 北浦街道 豊北に電気自動車充電設備

1月には、市リサイクルプラザと豊田町道の駅「浜街道西ノ市」にも同様の設備が整備され、北九州市との観光交流拡大が期待されます。

12月24日、豊北町道の駅「北浦街道 豊北」に市内で初めて電気自動車の急速充電設備ができました。市では、地球温暖化対策として、北九州市と連携して電気自動車

## 地域のための活動で表彰されました

豊北町でまちづくり活動を行っている藤岡基昭さんが、このたび「あしたの日本を創る協会」主催の全国フォーラムで内閣官房長官賞の表彰を受けました。

藤岡さんは、1983年に関東から故郷の豊北町へUターンして、地元で「住みたくなるふるさとづくり実行委員会」を設立。長年、祭りの運営やふるさとづくり活動に取り組み、その功績が評価されました。



中尾市長に受賞の報告をした藤岡基昭さん(左)



充電ポートにコネクターを挿してみる体験参加者



宮古市から直送された鮮魚の販売(さかな祭)



さかな祭のあんこう鍋

## 祭りでにぎわった 晩秋の1日

11月23日、市内は四つの祭りでのぎわいました。グリーンモール商店街の「リトル釜山フェスタ」では、チヂミなどの韓国料理の屋台が並び、下関漁港の「下関

さかな祭」ではジャンボふく鍋やあんこう鍋、くじら鍋が大盛況。防災協定を結ぶ岩手県宮古市の物産展もあり、少しでも早い復興を願って特産品をPRしました。海峡ゆめ広場の「J A 下関農業まつり」では新鮮な野菜の販売や餅つき、新米すくい取りなどがあり、「豊前田満ぶくフェスタ」は繁華街



豊前田の各店舗が趣向を凝らした  
満ぶくフェスタ



地元産のお米で餅つき体験(農業まつり)



体が温まる韓国料理は大人気!(リトル釜山フェスタ)



本場の公演団が伝統舞踊を披露(リトル釜山フェスタ)

の豊前田で焼き鳥、豚汁などを味わう人でにぎわいました。

年末年始のこの時期、温かい気持ちにさせてくれるイルミネーション。菊川町にイルミネーションで美しく飾られたログハウスがあります。ガイドブックにも掲載され、多くの人が訪れている手嶋真二さんの自宅です。このたび、手嶋さんは農林水産省主催「オーライ!ニッポン ライフスタイル賞」を受賞。同賞は、都市部からのUターンなどで魅力的な生活を実践している人を表彰するもので、今年

## 多くの方に下関の良さと Uターンの田舎暮らしを薦めたい

「古希(70歳)を迎えましたがこれからもチャレンジして、人との出会いに感謝し、ふるさとに恩返ししたい」と手嶋さんは語ります。ログハウスのイルミネーションは、1月15日まで行うそうです。イルミネーションに込められた手嶋さんの温かい気持ちを感に足を運んでみませんか。

手嶋さんは、平成15年に菊川町の実家の隣にセカンドハウスとしてログハウスを建設。平成16年に台風で荒れた隣接の山林を購入し、多世代の人が利用で

「オーライ!ニッポン ライフスタイル賞」受賞

手嶋 真二さん

